



第19回青少年海外派遣事業 派遣生たちが成果を報告

「第19回青少年海外派遣事業」の報告会を1月10日、内子自治センターで開きました。12人の派遣生が、ドイツ・ローテンブルク市とスペイン・バルセロナ市での研修の成果や感想を発表しました。

それぞれの派遣生は出発までに研修テーマを決め、日本での実情を調べたり、質問事項を考えたりして研修に参加。現地では訪問先やホストファミリーに積極的に質問するなどして理解を深めました。報告会の一部を紹介します。

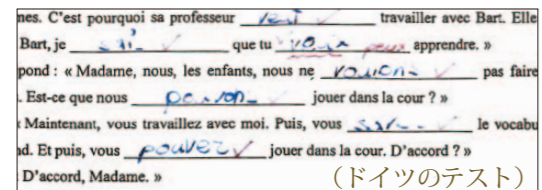


成果を発表する新田大貴さん(内子中1年)

報告

①ドイツのテストは○がない

ドイツのテストの答案用紙を見せてもらうと、○が一つもないのでびっくりしたら、日本とドイツでは○の付け方が違いました。正解している回答には「○」ではなく、「レ」が付いていました。



テストの評価のしかたの違い

	日本	ドイツ
正解	○	✓
間違い	✓	✗
おい	△	✓・✗

報告

②本から学んだ文化の違い

グリム童話「ブレーメンの音楽隊」の最後のページは、日本ではあまり馴染みのない、ダイヤモンドゲームというボードゲームをする様子が描かれていました。私は毎晩このゲームで遊びました。(中略)ドイツでは本をプレゼントするときに、名前や日付を書きます。私もホストファミリーからプレゼントしてもらった本に書いてもらいました。愛情を感じました。



1_ドイツの「ブレーメンのと音楽隊」の最後のページ
2_プレゼントされた本に書かれた名前と日付

●寄付のお礼

(公財)内子町国際交流協会へ寄付をいただきました。心からお礼を申し上げます。
金一封 大森 広一 様(平岡)

「第39回内子町読書活動研究集会」を終えて
11月17日、内子自治センターで「内子町読書活動研究集会」を開きました。110人が参加し、読書活動の推進などについて研究協議を行いました。

(1)事例発表と意見交換会
内子幼稚園保護者会の澤田久江さんが図書情報館の利用、園内での取り組み、保護者の読み聞かせ、今後の活動について発表。せせらぎ読書会代表の大森希世さんは読書会発足や活動内容について発表しました。参加者からは「今後も読書の時間を大切にしたい」「人との出会いを楽しみながら、活動していきたい」などの意見がありました。

(2)記念講演
絵本作家の長野ヒデ子さんを迎え、「絵本でふふふ・紙芝居でフフフ」と題して講演を行いました。

▽講演内容(抜粋)
今治の出身なので、お墓参りに帰ることがある。内子と今治は、言葉が何となく似ている。小さい時に、おじいちゃんの本屋で本を買ってくれた。その中に横山隆一さんのフクちゃんの漫画があった。これが絵本の原点となった。内子町は昔のものを大事にしている。これをずっと残し



講演をする長野ヒデ子さん

てほしい。木造は、紙芝居や絵本と通じている。紙芝居は世界中で通じる。「とうさんかあさん」がデビュー作である。子どもが質問したときは、子どもの目線できちんと答えること。子どもには、自分の幼いころの話や、昔話をたくさん語るといい。

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書

ヒカル卵 森沢明夫／著
養鶏農家の二郎は、「たまごかけご飯専門店」を開くと決意した。しかも限界集落からさらに山奥の森の中で……。山村に暮らす愉快な面々の笑って泣ける物語。

人気セミナー講師・いぢみえ先生の社会保険がやさしくわかる本 井戸美枝／著
医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労災保険の知っておきたいしくみと基礎知識を優しく解説。届け出や手続きについても盛り込む。

♥児童図書

ちかちかぴかり ジョアン B. グレアム／ことば
世界に降りそぐさまざまな光の源を、科学や子どもの視点から詩のことばで表現。文字の連なりで「光」の形を描くユニークな絵本。

キタキツネのおかあさん 竹田津実／文・写真
初めて赤ちゃんを産む若いキツネは、自分の母親と一緒に子どもを育てます。北海道の大自然を背景に描く、お母さんキツネの子育て奮闘記。

図書館 へ 行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
☞ http://www.town.uchiko-ehime.jp/library/
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日・年末年始

【おはなし会】

▷土曜日・午後2時～
2月8日 むしこまど
15日 むしこまど
22日 どんぐり会
3月1日 むしこまど

【文学講座】

▷2月15日(土) 午前10時～
3月1日(土) 午前10時～
▷内容：「源氏物語のヒロインたち」
▷講師：村山洋子さん